

緑 風

矢嶋 翼・岩田 典一・金澤 俊・木村 司  
竹田 秀泰・宇多 春美・板谷 良久

矢嶋 翼 議員



☆駅前活性化について、医療・福祉施設が集積するまちなかへ、高齢者の居住を進めるべきとの提案に、さらに利便性の向上策に取り組みと答弁がありました。

☆外部監査の導入について、現在2名の監査委員に税理士などを増員し、機能強化すべきとの提案に、他市も導入しており、調査検討すると答弁がありました。

☆命と献血の学習について、命の大切さと自殺予防の教育、さらに献血によって救われる命がある事を学ぶ授業をすべきとの提案に、「このころの授業」として小・中学校で、自殺予防は道徳の時間で実施。献血の学習は血液センターに講演を依頼すると答弁がありました。

岩田 典一 議員

☆平成29年度予算で、カジノを含む統合型リゾート（IR）について、多



くの市民が心配されているギャンブル依存症対策などについて質問し、市側から

ら苦小牧市としても専門家に対するヒアリングを行い、国内外の調査結果を踏まえ対応策を検討します。また、IRの効果や社会的リスク対策など多くの市民に月1回程度セミナーを開催しIRの理解と、IRについて考える場面を増やして行くと答弁がありました。私は、このIR構想が苦小牧に来ることになれば非常に大きな事業となると思っており、今後のまちづくりの視点からもしっかりと議論を進めるべきと考えます。

金澤 俊 議員



収漏れが昭和47年から平成20年にわ

☆下水道料金の未徴収について今回、予算提案に合わせて下水道料金の徴収

たり、推計も含めて総額約5,200万円にのぼることが報告されました。

また、市からは問題の原因究明と再発防止策について、まだ調査中であることも説明されました。

私からは、再発防止も大事であるが、市の責任の取り方として、時効消滅部分も含めた徴収漏れ分の回収をどうするのかについて、重点的に質疑をさせていただきました。

その理由は、現在は黒字の下水道会計も少子化などの影響で、今後平成32年には単年度赤字となり、平成40年には基金も尽きるという財政収支見通しであることが市から示されているからです。

いずれ下水道会計の財政がひっ迫することが予想される中で、問題の責任の取り方としてどう財源確保するのかは市として重要なことだと私は思っています。

木村 司 議員

☆長年に渡り、一般質問や委員会等で取り上げてきた総合窓口の再構築が提案されました。これにより、基幹業務システムと福祉系システムを総行政システムに統合・再構築することになり、市民の皆さんにとって



利便性の高い窓口が可能になります。平成29年度予算では3億1千万円の計上

ですが、長期的にみると業務の効率化・一元管理により大幅なコストの削減も図れます。そして何より転入転出を始め、窓口業務の全てが1か所とはなりません。移動距離・時間短縮など、効率化・利便性が格段に向上することになります。平成31年1月本格稼働に向けて、庁舎のレイアウトも含めご期待ください。

竹田 秀泰 議員



☆総合窓口設置について質問し、転出入などの手続きを可能な範囲で統合・簡

略化して1か所で手続きが済むイメージで考え、市民目線に立った利便性の高い総合窓口を考えているとの答弁がありました。